



2021年1月19日

投資家の皆さまへ

ベトナム株式市場の見通しについて

■ベトナム株式市場

19日（火）、VN インデックスは午前中に前日比 74.54 ポイント安（▲6.25%）の 1,117.4 ポイントまで急落しました。その後、後場にはいと買い戻しの動きから戻す展開となり、結局前日比 60.94 ポイント安（▲5.11%）の 1,131.0 ポイントで引けています。この下落に関しては、昨年来の市場の活況を受けて新規の個人投資家の口座開設が急増しており、こうした個人投資家が一齐に売りに回り、売りが売りを呼んで急落したと見ています。特に悪材料が出たわけではありません。また、1 月に入りホーチミン市場の売買代金は連日 15 兆ドンを超え、例年の 2～3 倍に達しており、また VN 指数も 2018 年 4 月に付けた最高値である 1,204 ポイントの更新を見据え、過熱感が高まっております。加えて、直近 1 月のベトナム株式指数先物の限月交代に伴う最終取引日が 19 日であり、限月交代に絡む売りが入った模様です。



上記データは過去の実績であり、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。（出所：ブルムバーグ）



■ 今後の見通し

世界はコロナ禍にあり、その勢いはまだ止まりません。日本では第三波が来ており、米国、欧州では想像以上の事態が起きています。一方、ベトナムは第一波時には死亡者ゼロ、第二波においても早めの対応をした結果がベトナム経済において際立った効果を出しています。IMFによる経済成長率予測では2021年は6.7%とコロナ前の水準に戻ることを予想しており、世界経済と比較するとベトナム経済の一人勝ちともいえる状況です。

コロナ対策について加えて言及しますと、ベトナム保健省は英製薬会社大手のアストラゼネカから1,500万人分の新型コロナウイルスワクチンの供給で合意したと発表しました。第1四半期中に調達する予定です。さらにワクチン調達で4カ国と交渉しつつ、国内開発も治験段階に入っています。因みに2021年1月17日時点で新型コロナウイルスの感染者数は、累計1,537人です。ベトナムは新型コロナウイルス感染症を効果的に封じ込めていることから、引き続き好調な企業業績と経済を背景に、2021年も堅調な相場展開を予想しています。2020年第3四半期の企業業績ではVN指数で構成される企業30社の内、29社が増益で、1社（ベトジェットエアライン）のみが減益でした。

ベトナムは新型コロナウイルス感染症を効果的に封じ込めていることから、引き続き好調な企業業績と経済を背景に、2021年も堅調な相場展開を予想しています。1月19日現在、ベトナムVN指数の2021年度の予想PER（株価収益率）は14.9倍と、日経平均（約25.2倍）や米S&P500種指数（約22.8倍）と比較し割安感がある中、好調な企業業績を背景に、2021年は更なる上値を目指す展開を予想しています。